



山田南小の児童と交流し、ハイタッチを交わす平瀬智行さん

一流のサッカー教室

山田南小 平瀬さん(元日本代表)と交流

山田

シドニー五輪に出場した元日本代表、平瀬智行さん(ベガルタ仙台アンバサダー)は26日、山田町飯岡の山田南

小(近藤尚樹校長、児童163人)で開かれた。

平瀬さんは全校児童の前で講話し、夢を持つ大切さや基本を大事にすることを説いた。児童は「スポーツと勉強の両立で大事なことは」「試合で緊張しない方法」など、熱心に質問していた。

6年生を対象にサッカー指導もあり、子どもたちはリフティングやミニゲームで体を動かし、元日本代表と触れ合った。6年生の川村優依さんと阿部滉士君は「基本を丁寧に教わった。またみんなでサッカーを楽しみたい」と喜んだ。

事業はスポーツ庁2020東京五輪・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の一環。松園中に続き県内で2回目の開催となった。